

# 市P連おおた

## 第17号

★発行 所：太田市小中特別支援学校 PTA連合会  
 ★発行 責任者：大手 康光  
 ★編集 者：平成26年度市P連広報担当  
 大手 康光（数塚本町中） 佐野 孝治（数塚本町小）  
 大林 雅志（数塚本町南小） 相馬 元（毛里田中）  
 手塚 光春（毛里田小） 松村 高幹（強戸中）  
 清水 克倫（強戸小） 高田 美津穂（母親委員代表）  
 ★印刷 所：大美印刷有限公司

題字：太田市P連会長 大手 康光



太田市小中特別支援学校PTA連合会 会長 大手 康光

### 子どもの輝きを守るために！ われわれ大人たちが何を思い、どう接していくのか？

頑張る、努力をする、一生懸命になるよりも、  
適度に、楽に、緩く、無理しないで生きたい。

そんな若者が増えていくという  
昨今、教育の場で考える事とはな  
んでしようか。

頑張る、努力するのは夕さい、  
だるい、そんな風潮はいつからつ  
られてしまったのでしょうか。子供達  
のなかでも一生懸命になる仲間を  
揶揄する傾向もあると聞かれます。

一生懸命生きるのか？楽に生き  
るのか？  
熱く生きるのか？冷めて生きる  
のか？

という二者択一ではないというこ  
とをまず子供達に伝えたいのです。  
つまり人間は緊張と弛緩というパ  
ランスの中で生きています。ばねで  
言えば、張ると緩むということ  
です。だから生き方においてもパ  
ランスが必要でしょう。

ところが、どうも張る側の人間、  
緩む側の人間とまるで役割分担の  
ように別れてしまい、お互いが自  
分を肯定したいかのように、相手

のあり方を受け入れることができ  
なくなっています。

これからの生き生きとした子供達には、  
各自の緊張と弛緩のバランスを  
とりながら中庸を生きている人  
材になって欲しいのです。

その中で頑張ることや努力をす  
るといことが、苦痛や我慢で無  
理をして生きているという考え方を  
改める必要があると思います。大  
人は自分たちの都合で子供に課題  
を与え、それができないと頑張れ  
ないとか怠けているとか叱つしま  
うことがあります。子供は無意識  
に大人のこぼしの洗脳を受けます。

「自分は努力できない」「自分は怠  
けている」「自分は集中力が好ま  
しくない」子供たちは自分の好き  
なことになら頑張れるし、我慢も  
できるのです。例えばゲームなど  
させればものすごく集中力だし努  
力家です。好きになるものが、サ  
ッカーや野球や勉強なら褒められ  
ゲームや虫いじりや空想遊びでは  
問題児のように見られてしまいま  
す。

現代社会において評価出来るこ  
とや、得をすることでなければ、

## 毎月第1日曜日は おおた 家庭の日

家族みんなで語り合い、  
楽しみあい、  
協力しあって  
家族のきずなを深め、  
あたたかい家庭を  
育みましょう



夢中になっても無駄な事だと言  
う大人がいます。  
すべての子供には素晴らしい才  
能と好奇心と集中力が備わって  
それを潰すのは大人の勝手な  
価値観です。好きなものを否定さ  
れた子供は夢中になることも努力  
をすることもしなくなります。好  
きなものを否定されるということ  
は、自分を否定されるという事と  
同じで無意識に思ってしまうので

う。そうなる生きることにはさ  
消極的になつてしまつても考え  
れます。  
幼き頃の好奇心（好きなこと）  
は、成長するにつれてどんどん発  
展して行きます。だから今はまる  
で無意味に見えることであっても、  
それを楽しみに子供たちの未知な  
る世界を見守る事も大切なこと  
だと思います。  
世の中においては、青色LED

## 第六十二回 日本PTA全国研究大会に参加して

### 長崎「異国情緒豊かな長崎で集い、語らい、学びあい」 大会

太田市休泊小学校PTA会長 米山武志

2014年夏、日本各地を襲つ  
た自然の脅威。雨による浸水、土  
砂崩れなど多くの爪痕を残した日  
本各地。出発前に確認した長崎  
県の気象情報は、大雨洪水警報  
が発令されており、無事たどり着  
けるだろうかと不安を感じながら  
長崎空港に到着。不安を一蹴させ  
てくれる青空と、真夏の太陽の輝  
きは、運営スタッフの心意気を表し  
ているかのように感じました。

運営に携わるスタッフのきめ細や  
かな気配りを随所に感じました。  
平成25年度、群馬県PTA大  
会を主催した太田市であっただけ  
に、運営する方々の動きが気にな  
って仕方ありませんでした。大会  
の大小を問わず、笑顔で接する影  
響力は「おもてなし」の原点である  
と実感しました。

先生と共通するものがあり、2日  
間を通して一番心に残る学びと喜  
びを実感した講演会でありました。  
分科会終了後、ほとんどの参加者  
が時間を過ごした長崎駅周辺、交  
通や飲食など、長崎大会という共  
通事項が、あらゆる人とモノをつな  
いでおり、実施するのは大変である  
が、地元経済に波及する影響力は  
計り知れないと感じました。  
2日目の全体会においては、  
1つの会場に全参加者が集うた  
けあつて人の多さに驚き、それを  
大きなトラブルなく対応している運  
営関係者の周到な準備は想像を超  
える「おもてなし」のように感じま  
した。



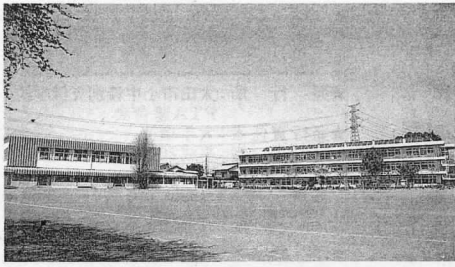
講演会を聞くだけの一方的な運  
営ではなく、会場に集まった至  
る人と歌でつながる司削田健介さ  
んとの大合唱は、参加者全員が盛  
り上げ、大会を成功させるという  
趣向を凝らした内容に、驚きと感  
動を味わいました。

8月22日金曜日、午後から2日  
間の開催というところで、仕事の段  
取り、休暇による影響を最小限に  
抑え参加できる大会スケジュール  
は、働き盛りの私たちにとうてい有  
りたない配慮でありました。

長崎空港から10分程度で到着し  
た分科会会場「シーハットおおむ  
ら」まで、空港からシャトルバス乗  
り場、会場までの随所に案内係が  
配置されています。

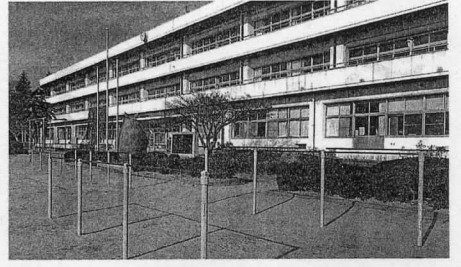
会場に入ってから受付をはじめ、  
開発でノーベル物理学賞を受賞さ  
れた方々を筆頭に、「おたく」と  
呼ばれる特殊な専門家が流行して  
います。  
子供時代にこそ好きなことを好き  
にしたいという思いが伝わります。  
だから先に自分の好きなこと  
（好奇心）を大切に、そこに情  
熱を注ぐこと、注ぐ方法を学んで  
いくことが重要です。そして、成  
長に応じて人と関わり社会に出て  
責任や義務、役割という喜びを  
知っていくはず。  
あなたのお子さまは、今「何お  
たくですか？」何に魅かれていま  
すか？子供の好奇心が刺激され  
瞳を輝かせている、その輝きを守  
り育てるのが教育ではないかと思  
っています。

および九州プロダクションの方々から  
「成り上がる」という熱い思いがひしひ  
しと伝わってくる、そんな雰囲気  
の大会でした。



# PTA紹介

44校ある太田市の小中特別支援学校から  
今回は市の北に位置する  
藪塚本町南小学校と強戸小学校の  
PTA活動を紹介します



## 児童の成長を願ひ

### 太田市立藪塚本町南小学校



大原町 2201-1 ☎78-6088  
http://www.ota.ed.jp/yabunan/  
PTA会長：林 雅志

本校は、太田市の藪塚地区の南部に位置した地域にあります。昭和54年に開校し今年で36年を迎えました。児童数は331名です。

広い校庭と、春の桜が散り始める頃に咲き始めるハナズキが非常に綺麗な事、季節によって表情

文化広報部の広報発行。教育環境部の年3回の除草作業。保健体育部の救急蘇生法と学校保

## 『学舎の発祥の地は瑞光寺』

### 太田市立強戸小学校



天良町 858-2 ☎37-0429  
http://www.ota.ed.jp/godo/  
PTA会長：清水 克倫

強戸地区は八王子山系に代表される恵まれた自然環境の中、この地を拓いた先人達の尊い足跡が数多く残される歴史ある地域です。近年の開発で北関東自動車道が強戸地区北部を横断し地域を二分したことにより様相が大きく変容しましたが、この地の連帯・協調の気風が古くからの郷土の和が保たれ、皆、強い絆で結ばれて

切に守り育てていきたいとの願いを込めて、PTAや区長会等で構成される強戸地区青少年健全育成推進会議の会員が中心となり、昭和六十三年に「強戸かるた」を作成しました。これは、強戸が生んだ偉人や歴史・自然などがふんだんに盛り込まれ、地域をより深く正しく理解する上で大いに役立つ貴重な文化遺産とも言えるものです。毎年一月には多くのPTAの協力の下、「強戸かるた大会」が盛大に開催され子ども達の熱戦

健委員会。校外補導部の通学路危険箇所点検、安全看板設置。はなみずきの映画教室と陶芸教室。その他のPTA活動として当番による下校時指導、藪塚祭りパトロール、運動会準備・当日協力、各学年行事の協力などを

ご協力の下、児童たち自らが学校農園で植え付けを行い収穫をした、さつまいもを食材にした芋煮会があります。

また、5月には、毎年恒例の農業体験(田植え)を行っています。写真は、保護者の皆様のご協力の下、開催された時の写真です。学校農園同様、児童は自然を通して非常に貴重な体験を通じて、自分たちが一生懸命に手をかけ収穫

し自らが食する事で、日頃農業に携わる方々のご苦労、そして毎日美味しいご飯を作ってくれてご家庭の方々の感謝の思いを学んでいます。

今後PTAと学校が協力し、児童たちが大きく成長出来るよう努力していきます。(文・林雅志)

また、5月には、毎年恒例の農業体験(田植え)を行っています。写真は、保護者の皆様のご協力の下、開催された時の写真です。学校農園同様、児童は自然を通して非常に貴重な体験を通じて、自分たちが一生懸命に手をかけ収穫

が会場いばいに繰り広げられます。子ども達、PTA・地域が一体となったこの行事は強戸に愛着を持ち、地域の発展を願う貴重な機会です。

「学舎の発祥の地は瑞光寺」と読み札にあるように、本校の歴史は地元のお寺に端を発します。以来百四十年余、強戸の地に生きてきた人々の知恵と努力に感謝しつつ、これからの強戸小学校を私達PTAが支え、子ども達の健全育成を担う重責を再認識し、活

「ま」

「ま」

「ま」

「ま」

「ま」

「ま」

「ま」

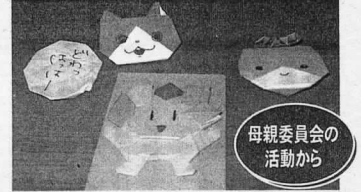
「ま」

「ま」

「ま」

「ま」

## 折り紙講習会を行いました



母親委員会の活動から

今年度の母親委員会は「絆」笑顔でつなぐ家族の愛をテーマに活動を行っております。その研修も昨年同様に5回開催を予定しております。

第1回目は「家族で「笑顔」その気にさせる」3つのポイントをテーマに、尾島中学校阿部正校長先生の講演と分科会を開催しました。

第2回目としては、夏休み最後を飾る8月30日土曜日に「親子折り紙教室」を開催いたしました。当日は親子での参加をお願いしたところ、母親委員に加えた皆さんの子ども達にも参加いただき、約90名で会場いばいに笑顔があふれました。講師は、群馬大学折り紙研究会「Origami」の現役大学生でした。折り紙の歴史や、人間性を育む遊びとして、ユーモアを交えながら熱心に講演とこ

指導を頂きました。当日の課題は『くんまちゃん』！小さな子どもには難しいかなと思っておりましたが、お兄ちゃん・お姉ちゃん先生がわかりやすく教えて下さったお蔭で、それはそれは立派な『くんまちゃん』が完成しました。全国区のゆるキャラが我が家にちよんちゃんとして来、きと喜んでいる家庭も多いのではないのでしょうか？

当日は朝までの雨がしつかり止んで、残暑厳しい気候となりましたが、夏休みの思い出を親子でつくることもできたと思います。

次回からは「親子でヨガ」をはじめ、お子さんと楽しめる企画を予定しております。今後も、母親委員会活動へのご理解とご協力をぜひお願いいたします。(文・生形友子)

**今後の市P連 主な行事予定**

市P連会員研修会  
11月23日(日) 勤労感謝の日  
午後1時～午後3時30分(受付12時30分から)  
■会場：太田市新田文化会館(エアリスホール)

講演会テーマ「コミュニケーション」  
～先生と保護者のコミュニケーションが笑顔で前向きな子どもを育てる～

講師 講師 鎌田 敏 氏

〈鎌田 敏氏プロフィール〉  
こころ元気配達人  
こころ元気研究所 所長 鎌田 敏(びん)  
昭和43年生まれ、大阪育ち。  
株式会社エンパワーコミュニケーション代表取締役。  
平成17年3月「こころ元気研究所」を設立  
産業カウンセラー、日本メンタルヘルス協会基礎カウンセラー、心理相談員、認定コーチなどの資格をもつ。  
日本選択理論心理学会正会員、日本ファミリーセッション協会正会員、日本産業カウンセラー協会正会員。

★会員の皆様のご参加をお待ちしております!



「ま」



「ま」



「ま」